育　成　会　かわさき

№１７０

知的障害者親の会部　会報

発行
社会福祉法人ともかわさき
川崎市育成会手をむすぶ親の会
発行責任者　池谷　英子

発行日
平成２５年８月１日

編集　社会福祉法人ともかわさき
川崎市育成会手をむすぶ親の会
〒213-0011　川崎市高津区久本 3-6-22　地域福祉施設「ちどり」１階
TEL：044-812-2966　FAX：044-813-1216　Email:kawaikusei@tomokawasaki.or.jp

平成２５年度　川崎市心身障害児者福祉大会

平成２５年６月２９日(土)１３時より川崎市総合自治会館にて川崎市心身障害児者福祉大会が開催されました。「**障害のある人もない人も共に生きる川崎の街に**」を大会スローガンに、第１部は式典、第２部は今泉修一氏をお招きして講演会が行われました。

来賓の方々の紹介　※順不同・敬称略させていただきます。

川崎市副市長三浦淳、川崎市議会議長浅野文直、同健康福祉委員会委員長露木明美、川崎市議会議員橋本勝、同後藤晶一、同岩崎善幸、同市古映美、同石田和子、川崎市健康福祉局長伊藤弘、同障害保健福祉部長萩原利昌、同障害福祉課長杉浦のぞみ、同障害者更生相談所長吉川勉、川崎市市民・こども局こども福祉課長野上昭雄、同こども家庭センター所長山口佳宏、川崎市宮前福祉事務所長鹿俣和氏、川崎市教育委員会学校教育部長芹澤成司、同学校教育部指導課担当課長上杉忠司、川崎市中学校校長会堀米達也、川崎市教職員組合障害児教育部長村上文人、川崎市立養護学校長中西伸夫、同田島養護学校長高木正之助、神奈川県立高津養護学校長奥野康子、同ＰＴＡ会長池畑恵子、同中原養護学校長成田裕子、同ＰＴＡ会長高柳聡子、(社福)川崎市社会福祉協議会長斉藤二郎、(社福)育桜福祉会常務理事星栄、(公財)川崎市身体障害者協会理事長中込義昌、特定非営利活動法人あやめ会理事長星野ノリ、(社福)みのり会常務理事山中淳子、(社福)ともかわさき理事長鹿嶌勝美、同事務局長西矢健一郎、(社福)長尾福祉会理事長荒川佳紀、特定非営利活動法人川崎市障害福祉施設事業協会理事長井田正敏、(社福)はぐるまの会理事長澤俊男、(社福)セイワ桜の風施設長中山満、わかたけ作業所施設長市川高弘、白楊園施設長青砥利幸、しらかし園施設長別府政行、こぶし園施設長伊豆真理子、ゆずりは園施設長高橋國士、川崎市めいぼう所長佐藤美代子、障害者支援施設つつじ工房施設長弦巻知利

川崎市副市長　　祝辞

三浦　淳　副市長

本日は、平成２５年度川崎市心身障害児者福祉大会が、「川崎市育成会手をむすぶ親の会」、「川崎市自閉症児者親の会」、「川崎市肢体不自由児者父母の会連合会」で構成された実行委員会主催のもと、多くの会員の皆様、御家族の皆様及び関係者の方々の御参加により、盛大に開催されますことを心からお慶び申し上げます。

さて、既に御案内のとおり昨年度までこの福祉大会を主催されてきた「財団法人川崎市心身障害者地域福祉協会」が、平成２５年３月末に解散され、４月からは「社会福祉法人ともかわさき」と組織統合されました。地福協は、３０年近くにわたり、川崎市の障害福祉に御尽力いただきました。成人式、ふれあいショップ事業、さらに地域福祉活動ホームや作業所の関係等々、障害者施策の中核をなす事業の設立や運営を担うなど、川崎市の障害福祉に多大な貢献をされてきました。この場を借りまして改めまして厚く御礼と感謝を申し上げます。

会長の御挨拶にありましたように、国の法改正がこの１０年近くにわたり、激動していると思います。障害者総合支援法の施行、あるいは、障害者差別解消法の成立、さらには障害者の雇用促進の部分についても遅れていた精神障害者雇用の義務化、法定雇用率の引き上げなど、改正が矢継ぎ早にと申しますか行われているのが今の状況と思っております。このような状況の中で、川崎市においても、平成２１年に策定した「第３次かわさきノーマライゼーションプラン」を昨年３月改定いたしました。障害を持つ皆さんの在宅生活を支援する社会をつくるための施策の取り組みを進めているところです。

この４月には、中原区井田に入所機能をもつ「障害者支援施設『桜の風』」を開設いたしました。また、子どもたちの地域療育センターや、川崎の地域福祉の拠点である福祉センターの再編整備も大きく進んでまいりました。福祉センター隣のグランドに今施設建設が真っ盛りとなっています。

このように、川崎全体の施設整備が大きく展開されつつある状況かと思われます。利用されている皆さまにはいろいろな部分で御不便をおかけしているかとは思いますが、まずは、きちんと施設を整えるのが行政の大事な仕事と考えております。

改めて、障害のある人もない人も地域社会の中で暮らすことができる共生社会をつくり上げていく取り組みを進めているところでございますが、基本は、障害を持っていても当たり前のように働くことができる就労支援、日中活動の場の確保、このようなことがひとつ大事なことであります。また、暮す場、住居あるいはグループホームなど生活をする場の確保が２番目に大事なことです。さらには、様々な生活支援のための相談や支援活動が３番目に大事なことです。さらに成年後見などの権利擁護、こうしたことを併せてトータルな展開をしていくことが大事であると考えております。一朝一夕にはできませんが、子どもから高齢者、障害のある人もない人も当たり前に暮らせる社会をつくるために皆さんとともに頑張っていきたいと思います。

最後となりますが、新しくスタートした福祉大会の御成功と御発展を祈念させていただきますと共に、この川崎の街が「共生の街川崎」と言えるような社会になることを心から期待をさせていただき、お祝いの御挨拶とさせて頂きます。

福祉大会実行委員長挨拶

川崎市育成会手をむすぶ親の会
会長　池谷　英子

皆さま、こんにちは。ただいまご紹介いただきました、川崎市育成会手をむすぶ親の会、会長の池谷英子でございます。

昨年度までは、地福協として、福祉大会を行っておりましたが、皆さまご承知のように、法人組織の変更により、本年度から、「川崎市育成会手をむすぶ親の会」と名称も新たに、３団体の親の会、すなわち、川崎市育成会手をむすぶ親の会と、川崎市肢体不自由児者父母の会連合会、そして川崎市自閉症協会が共同して、本日の会を開催することになりました。組織的な変更はございましたが、従来通りの活動を続けてまいりますので、よろしくお願いいたします。

さて、５月２７日の参議院本会議で、成年後見人がついた人たちの選挙権を回復する、公職選挙法改正案が全会一致で可決されました。

国の立場から、このように障害者を一人の人間として、財産保護のための成年後見制度と、国民の基本的な権利である選挙権のはく奪は、関係ない、とした今回の対応はとても素晴らしいことです。

また、昨年より、障害者支援法、障害者虐待防止法などの法律が制定され、障害児・者を取り巻く環境も大きく様変わりしております。

障害者総合支援法の基本理念においては、「社会的障壁の除去」ということが書かれております。

社会的障壁は４つあります。

そのひとつに観念、言い換えるならば意識上の障壁、すなわち、心の壁である「偏見と差別」があります。事物、制度、慣行といった他の３つに比べ、このことはなかなか改善されません。

もう一度改めて、私たち３団体親の会が抱えるこの課題を正しく理解していただきたいと思います。私たちもそれぞれの障害について理解していただくための努力をしてまいります。

川崎市では、国に先駆け、幾つもの負担軽減措置を実施していただき、感謝しております。また、第３次かわさきノーマライゼーションプラン改定版に基づき、様々な施策が展開されております。プランの基本的な目標であります、「地域生活のあんしんを支える共生社会の実現」が着実に前進することを願っております。

また、東日本大震災から２年３か月が経過しました。未だ現地では復興のめどが立っておりません。地震、津波による被害は多くの尊い命を奪いました。いつ起こるかわからない地震は、障害のある子を持つ親として大変心が痛みます。

災害時に、安心して避難できる場の確保が早急に必要です。

本日、第２部講演会では、「東日本大震災から学ぶ親たちの心構えについて」の講演があります。

私たちも、一つひとつ学ぶべきことは学んでいきたいと思っております。

最後になりましたが、本日のスローガンにありますように「障害のある人もない人も共に生きる川崎の街に」。このスローガンが、川崎の街の隅々にまで定着し、親亡きあとも安心して暮らせるように、私たちも努力してまいりますが、行政、市議会議員の皆さま方、そして、ご参会の皆さま方に、障害児・者の生きる権利・環境改善へのお力添えを、切に、心からお願い申しあげまして、私の挨拶といたします。

平成２５年６月２９日　福祉大会　第２部　講演会

東日本大震災から学ぶ親たちの心構えについて

講師：今泉　修一氏
経歴：横浜市在住、神奈川県立高津養護学校を今春退職
NPO 法人「チャレンジド・サポートプロジェクト」所属
３・１１以降東北各地でボランティア活動に参加

障害者の親として配慮すべき事柄についていろいろな角度から考察した内容を開陳されました。本稿ではその中から抜粋した事項を報告します。

１．津波被害についての報道が圧倒的に多いが、４月１７日の余震（震度７強）ではビルや家屋の倒壊が多発した。
２．障害者（特に身体）の津波による死亡率が高かった。女川市では、一般７．０％に対して障害者は１３．９％。石巻市２．０％に対し７．５％。
３．避難所内の共同生活では障害者に対する特別な配慮は得難い。理由は多くの人々が平等な待遇を求める為である。自治体等による障害者用の２次避難所の設置は必須である。
４．家族を守る為に、先ず親が自分の命を守る。
５．家族の心得
（イ）身の安全
（ロ）最低３日分の水と食料の常備
（ハ）家具の固定。寝室には家具を置かない。震度７では家具は倒れるより飛んでくる。
（ニ）隣、近所の住人と協力体制を保つ。　（宮本　善夫）

◇…◆…◇…◆…◇…◆…◇…◆…◇…◆…◇…◆…◇…◆…◇…◆…◇…◆…◇…◆…◇…◆…◇…◆…◇…◆…◇…◆…◇

「川崎市育成会手をむすぶ親の会　第１回総会」報告

副会長　宮澤　明

平成２５年６月２９日（土）、川崎市育成会手をむすぶ親の会第１回総会が川崎市総合自治会館で開催されました。出席者は５９名でした。

総会は、結城副会長の司会で進められ、（社福）ともかわさき鹿嶌理事長から「新体制のもと、頑張って活動して欲しい。親の会が大きな成果をあげるために、法人ともかわさきも援助していく。」と励ましの温かい挨拶を頂きました。

議題につきましては、池谷会長を議長に、１号議案平成２４年度事業活動報告・２号議案平成２５年度事業計画（案）を宮澤が、３号議案平成２５年度予算（案）を山田会計担当が説明しました。いずれも満場の拍手で採択されました。

親亡き後をどのように生きるのか、人権、住まい、暮らし、医療など、親同士が手をむすび合い、行政や連携諸団体と力を合わせて行くこと、育成会の活動を活発に進めていくことを確認し合いました。当日は、福祉大会後の開催でしたので、出席者の皆さんには大変お疲れになったと思います。ご協力ありがとうございました。

緑陰訓練のお知らせ

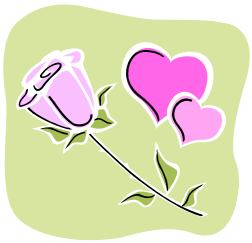
実施日　平成２５年１０月５日（土）

※詳しいことは、配布されるチラシをご覧ください。
皆さまのご参加お待ちしております。

川崎市育成会手をむすぶ親の会としての障害者施策要望について

本会は、障害者とその家族誰もが、地域の中で安心して暮らせることを願い、今年度も川崎市に要望を提出します。抜粋ではありますが、その内容を報告いたします。

１「障害者の高齢化と家族の高齢化に向けた取組み」について
（１）グループホーム・ケアホームの整備計画に沿った建設を
（２）新規入所施設の整備について
２「障害者の生活保障」について
（１）障害基礎年金を現行の生活保護並みに増額
（２）障害程度区分判定の知的障害者への配慮
（３）障害者優先調達推進法への対応
（４）就労支援について
３「障害者の医療」について
入院先を探すことが困難な重度の知的障害者の緊急時受け入れ先確保の対策
４「災害時の支援」について
災害時に安心して避難できる場の確保
５「各支部からの要望」について
（川崎支部）・南部地区の入所施設建設・施設職員の研修会参加・介護者の無料パス
（幸支部）　・障害者虐待防止法の理解・医療ケアを受けている障害者の日中ショート
・重度障害者のグループホーム・「ふれあいフリーパス」介護者の優遇措置
（中原支部）・障害者向け高齢ケアホームの設置
（高津支部）・医療ケアが必要な障害者のショートステイを市立病院内に設置
（宮前支部）・介護者のバス券無料・グループホーム増設
（多摩支部）・通所施設にショートステイ機能を
・日中一時支援が自由に利用できる事業所の増設
（麻生支部）・障害者の理解と人権尊重の啓発活動・グループホーム増設
・緊急一時預かりとして各事業体施設に１床ずつ整備
（田島養護学校支部）・タイムケア利用者の卒業後対策　（総会資料より）



川崎市議会議員団との懇談会

副会長　結城　眞知子

７月３日に第２庁舎において、公明党川崎市議会議員団と日本共産党川崎市議会議員団から「川崎市育成会手をむすぶ親の会」としての障害者施策要望をお話する機会を設けていただきました。知的障害のある人たちが地域で適切な支援を受け、「親亡きあと」も安心して豊かな暮らしができるよう願い、その実現に向けて日々活動している、私たちの思いをしっかり受け止めていただけたと感じています。私たちの願いを議会に反映していただき、それを励みに更に積極的に「親の会」の役割を果たすべく邁進したいと思いますので、ご協力をお願いします。

研修会のお知らせ

日　時　　平成２５年１０月１６日（水）10：15～12：00
場　所　　てくのかわさき　２F「てくのホール」
テーマ　　「(仮称）川崎市における障害者福祉対策の現状
～新たな相談支援センターの取り組み～」

平成25年度 川崎市育成会手をむすぶ親の会事業計画（総会資料より）

		全　体	訓練等事業	広報活動事業	研修推進事業	権利擁護活動事業	全日本手をつなぐ育成会活動参加	その他の活動
25年4月	上旬	運営委員会						
	中旬							
	下旬							
5月	上旬			会報第169号発行				川崎信用金庫ふれあい市場への支援活動 あやめ会舞会出席
	中旬							
	下旬	運営委員会				あんしんノート書き方講習会(5/27)	評議員会	自閉症協会総会出席
6月	上旬							
	中旬	運営委員会						
	下旬	総会 （川崎市心身障害児者福祉大会）						
7月	上旬	川崎市議会・会派への要望					大都市問題協議会（さいたま大会）7/8～9	
	中旬	運営委員会						
	下旬		海水訓練(7/24)					
8月	上旬			会報第170号発行				
	中旬	運営委員会						
	下旬	川崎市への予算要望						
9月	上旬				警察関係者との懇談会 （予定）	あんしんノート書き方講習会(9/2)		
	中旬	運営委員会						
	下旬						関東甲信越大会（茨城大会）9/28～29	
10月	上旬		緑陰訓練(10/5)					
	中旬	運営委員会			他団体との共催研修			川崎信用金庫ふれあい市場への支援活動
	下旬							
11月	上旬			会報第171号発行	民生委員児童委員との懇談会 （予定）		全国大会（大分大会） 不参加	
	中旬	運営委員会						
	下旬					あんしんノート書き方講習会		
12月	上旬							「障害者週間」街頭キャンペーンへの参加
	中旬	運営委員会						
	下旬							
26年1月	上旬							
	中旬	運営委員会						成人式(1/18)支援活動
	下旬					あんしんノート書き方講習会		
2月	上旬	各支部新年懇談会		会報第172号発行				
	中旬	運営委員会						
	下旬							
3月	上旬		春の宿泊レク (3/9～10)		他団体との共催研修			
	中旬	運営委員会					関東甲信越大会代表者会議 行政説明会、評議員会	
	下旬							
備　考		三役会議/随時	委員会5回/年 配車会議3回/年	委員会5回/年 校正・発送4回/年	委員会4回/年 警察挨拶1回/年	委員会6回/年 書き方講習会4回/年		相談支援活動 アゼリア展示即売会への支援活動

平成25年度　川崎市育成会手をむすぶ親の会事業予算書(総会資料より)

収入の部

（単位：円）

	前年度決算額	本年度予算額	予算額－決算額	備　考
1 支部会費収入	1,540,800	1,795,000	254,200	年間2,400円 会員数800名（予算数）
2 補助金収入	406,000	406,000	0	川崎市補助金
3 委託金収入	420,000	420,000	0	川崎市委託金
4 参加費預り金収入	1,650,500	2,177,000	526,500	
①知的緑陰訓練事業参加費預り金	510,450	507,000	△ 3,450	4,300円×118人参加見込
②知的海水訓練事業参加費預り金	38,300	74,000	35,700	1,100円×68人参加見込
③春の宿泊レクリエーション事業参加預り金	1,101,750	1,596,000	494,250	21,000円×76人参加見込
5 寄付金収入	953,511	400,000	△ 553,511	賛助会費、その他成人式祝金等
6 雑収入	0	500,000	500,000	前年度会費・賛助金
合計	4,970,811	5,698,000	727,189	

※ 寄付金収入（会費収入）の一部は、ふれあいショップ事業に充当している。

支出の部

（単位：円）

	前年度決算額	本年度予算額	予算額－決算額	備　考
1 総会開催事業費支出	0	31,000	31,000	資料用紙代、記念品代、印刷代
2 支部活動費支出	575,600	548,000	△ 27,600	行政区支部700円/1人、学校支部500円/1人
3 育成会活動支出	567,870	544,000	△ 23,870	
①全日本育成会年度分担金	255,000	255,000	0	
②関東甲信越大会代表者会議（炊飯費）	48,000	27,000	△ 21,000	昨年横浜市　参加のための経費
③全国大会（大分県）	191,930	20,000	△ 171,930	昨年新潟、本年度不参加・分担金のみ
④関東甲信越大会（炊飯費）	22,340	90,000	67,660	昨年横浜市　参加のための経費
⑤大都市問題協議会（さいたま市）	0	52,000	52,000	昨年開催なし　参加のための経費
⑥全日本育成会交通費分担金（仮称）	0	60,000	60,000	新設
⑦各支部配付用手をつなぐ購読料	39,600	40,000	400	11支部×3,600円
⑧行政説明会等参加費	11,000	0	△ 11,000	
4 余暇活動事業費支出	2,070,500	2,639,000	568,500	全体8回/年、配車会議8回/年
①委員会開催費	役員交通費に含まれる	42,000	42,000	委員9人
②緑陰訓練事業	720,450	717,000	△ 3,450	市委託事業・福祉バス2台
③海水訓練事業	248,300	284,000	35,700	市委託事業・福祉バス2台
④春の宿泊レクリエーション事業	1,101,750	1,596,000	494,250	自主事業・福祉バス2台、観光バス1台
5 広報活動事業費支出	154,560	266,000	111,440	全体8回/年、校正・発送各4回/年
①委員会開催費	役員交通費に含まれる	50,000	50,000	委員9人
②会報作成費	154,560	176,000	21,440	年4回、1500部
③会報発送費	47,640	40,000	△ 7,640	関係機関への発送、各支部発送の場合は支部負担
6 研修活動事業推進委員会支出	22,076	31,000	8,924	4回/年、巡回検討1回
①委員会開催費	役員交通費に含まれる	31,000	31,000	委員10人
②研修開催費	22,076	13,000	△ 9,076	資料用紙代、印刷代
7 権利擁護委員会支出	0	44,000	44,000	年8回
①委員会開催費	0	38,000	38,000	委員9人
②講習会交通費	0	6,000	6,000	会じノート書き方講習会年4回
8 福祉大会実行委員会支出	146,183	運営委員会交通費から支出	△146,183	開催経費は、事務局分直接費及び祝金から支出。
9 成人式実行委員会支出	26,600	53,000	26,400	親の会負担分、他に市補助金350,000円
①成人式拡大実行委員会交通費	役員交通費に含まれる	30,000	30,000	
②役員昼食代	26,600	23,000	△ 3,600	育成会役員及び演奏者分
10 寄付金支出	223,981	0	△ 223,981	親の会関係事業赤字補てん金（成人式）
11 積立金	0	300,000	300,000	
関東甲信越大会当番開催費積立金繰入	0	300,000	300,000	平成30年度川崎市当番
12手をむすぶ親の会活動費支出	883,615	672,000	△ 211,615	
①役員活動手当支出	720,650	96,000	△290,650	
②役員交通費支出		276,000		
③運営委員会交通費		135,000		
④事務費支出	162,965	165,000	2,035	
消耗品費	(85,350)	(80,000)	(△ 5,350)	
通信運搬費	(4,360)	(23,000)	(18,640)	
支払手数料	(3,255)	(2,000)	(△ 1,255)	
謝礼金	(35,000)	(25,000)	(△ 10,000)	祝い金
負担金	(35,000)	(35,000)	(0)	市社会福祉協議会会費等
雑費	(0)	(0)	(0)	
13 雑支出		0	0	香典・支部弁応
14 予備費	0	570,000	570,000	
合計	4,670,985	5,698,000	△ 1,027,015	

※ 科目の流用を認めるものとする。

前年度決算額は「地福協」決算額のうち手をむすぶ親の会に相当するものを当てはめている。

中央・大師・田島三支部通信

田島支部　安達　ゆかり

「川崎区民生委員・児童委員協議会と交流」について

４月２３日（火）民児協と中央・大師・田島の三支部で、情報交換会を開催しました。昨年に引き続き、民児協の方に会員から、日頃の我が子の様子や困ったこと、地域への思いなどを伝えました。ある民生委員の方がご自分の体験を話してくれました。障害のある子をお持ちの方が困っているようなので、せめて話だけでもと思い声をかけたところ、問題が解決したとのことです。その方の声をかけてくださった勇気に、心が温まる思いがしました。継続して情報交換することによって、障害への理解と、お互いの活動への理解が進み、障害のある人への壁が低くなっていくように思いました。

中央・大師・田島三支部合同　日帰りバス旅行

５月１８日（土）鎌倉・江の島バス旅行に行きました。参加者は２６名で、午前８時に市役所前を出発して江の島水族館をめざしました。車中のビンゴゲームでは、プレゼントが渡されるとみんなニコニコ。あっという間に江の島水族館につきました。水族館では、魚やイルカのショーを見たり、一緒に写真を撮ったり、その写真をうれしそうに見せてくれた方もいました。

昼食の後、鎌倉へ移動して、大仏、鶴岡八幡宮、小町通りと見学しました。参加した方が、「楽しかった！」「また、来年！」と握手してくださり、たくさんの笑顔に会えた一日となりました。

多摩支部通信

多摩支部　美和　とよみ

６月１６日（日）「第１３回多摩ふれあいまつり」が開催されました。川崎市育成会手をむすぶ親の会の活動内容を展示しました。

また、５月３１日（金）・７月１１日（木）「あんしんノート書き方講習会」を行いました。親の会の活動報告や、多摩支部の要望事項、地域との関わりなど、いろいろ話し合いました。ノートはなかなか書き進みませんが、会員同士の交流の場として今後も続けていきたいと思います。次回は９月１３日（金）10:30～「福祉パルたま」で行います。参加をお待ちしています。

賛助会費、ご寄附誠にありがとうございました。（順不同・敬称略）

滝本美津江	高津区久末	5,000 円	神保　道雄	川崎区小田	5,000 円
谷垣　朋子	中原区宮内	5,000 円	藤木　洋子	川崎区田島町	1,000 円
並木　隆	川崎区四谷上町	1,000 円	浅沼　節子	川崎区桜本	1,000 円
八木千恵子	幸区河原町	3,000 円	市田　榮重	多摩区菅城下	5,000 円
宮本　善夫	麻生区高石	5,000 円	伊藤　忠男	高津区坂戸	1,000 円
竹内　栄子	川崎区桜本	1,000 円	藤田ユツ子	幸区南加瀬	3,000 円
吉野　明美	中原区市ノ坪	3,000 円	下山　タツ	幸区小倉	3,000 円
早坂　法子	中原区木月住吉	2,000 円	小倉　伸男	幸区苅宿	5,000 円
笹原　チエ	中原区下小田中	1,000 円	高麗喜久江	幸区鹿島田	5,000 円
松村　翠穂	高津区久末	1,000 円	高井美惠子	幸区南加瀬	30,000 円
植木　照子	宮前区菅生	5,000 円	椎名　浩二	幸区南加瀬	3,000 円
松井さい子	麻生区下麻生	1,000 円	岩本サキ子	高津区子母口	3,000 円
田中惠代子	高津区新作	1,000 円	石塚　直美	高津区蟹ヶ谷	10,000 円
田畑　順子	中原区中丸子	1,000 円	石塚千惠子	高津区蟹ヶ谷	5,000 円
藤屋　貞雄	多摩区長尾	7,600 円	森永マサ子	麻生区東百合丘	5,000 円
中村　正男	川崎区浅田	5,000 円			

＊1,000 円以上の方を記載しています。

私たちの広場

６月９日(日)10：30 から本人の会の活動が、川崎市立養護学校体育館で行われました。支援員の声かけで、みんなで輪になり準備体操をして、その後２チームの分かれてのティーボールの試合が始まりました。ルールも理解されていて、活気あふれた試合でした。休憩をはさんで、バドミントンも試合形式ではじまりお互いに声をかけあいながら楽しまれていました。空きスペースでも、２人で打ち合いを楽しんでいました。最後には、みんなで一列になってモップがけをして終わりました。今回初めて、娘と見学をさせていただきましたが、見るだけでも十分に楽しめた時間でした。　　（三浦　ルイ子）

平成25年度の年間予定

８月１１日(日)　　第４回実行委員会
９月　８日(日)　　川崎スポーツの会／日帰りバス研修会
１０月１３日(日)　　第５回実行委員会
１１月１０日(日)　　講演会（勉強会）
１２月　８日(日)　　第６回実行委員会
１月１２日(日)　　第７回実行委員会
２月　９日(日)　　料理教室／てくのかわさき調理実習室(使用予定)
　てくのかわさき調理実習室が取れた日を優先します。
３月　９日(日)　　第８回実行委員会

私たちの広場は、川崎市内の本人の会です。毎月第２日曜日に地域福祉施設「ちどり」で開催しています。見学は自由です。お問合わせ、参加申し込みは、
ともかわさき事務局分室　電話 044-812-2966 までお願いします。

川信ふれあい市場

５月１７日（金）川崎信用金庫本店にて、恒例の「ふれあい市場」が開かれました。
さわやかに晴れた日で、お客様の出足も好調で賑わっていました。

参加したお店には、手作りのお菓子、いつも人気のパン、かわいい手芸品など、ところ狭しと並んでいました。
「いらっしゃいませ！」「ありがとうございました！」の明るい声が響いて、私もついつい、お店に長居して買い物を楽しんでしまいました。次回の「ふれあい市場」は１０月の予定ですが、その日が待ち遠しいです。　　（安達　ゆかり）

ある会員のつぶやき

５月の連休明けに、息子が風邪をひきました。いつもなら、１日休んでお医者さんで薬をもらえばすぐ治るのです。ところが、なんだかぐったりして元気にならず、熱もさがりません。当然私の予定はすべてキャンセル。４日も続くとこちらも気が滅入ってきます。今年の春先は陽気が急激に変化していたので、風邪もなかなか治らなかったようです。
今ぎりぎり５０代の私。１０年先、２０年先に元気でこの子の面倒をみることができているのでしょうか。普段忙しさの中で忘れていることですが、こんな時にフッと頭をよぎりました。そんな心配をしなくても良いような社会の仕組みが、日本にも来ると良いな…と思ったのでした。

～　民生委員・児童委員さんについて　～
権利擁護委員会より

今年度、発足した権利擁護委員会では、障害のある人の生活について話し合っていくことになりました。普段の生活の中にある素朴な疑問を拾い出して話し合い、その内容を広報紙などで皆さんにお知らせしていく予定です。今回は、平成２５年６月５日（水）に開催した第３回権利擁護委員会での「民生委員・児童委員さん」ついての意見交換を掲載させていただきます。

ＮＰＯ法人かわさき障がい者権利擁護センター作成の「あんしんノート」にあるエコマップには、民生委員・児童委員さんの担当者名を記入する欄があります。けれど、担当の民生委員・児童委員さんのお名前をすぐに書ける方は、少ないのが現状です。「民生委員・児童委員さんとかかわりを持つ」という生活が、当たり前になっている人は少ないということでしょうか。

権利擁護委員会当日は、さまざまな意見が出されました。結果、平常の生活では、かかわりの少ない民生委員・児童委員さんですが、災害時など、何か起きたときにすぐにつながるのは、やはり、民生委員・児童委員さんではないかということになりました。当委員からは、そうであるならば、担当の民生委員・児童委員さんには、我が子の障害について、また、生活について知っていてもらいたいという声が出ていました。

また、犯罪に巻き込まれてしまう障害のある人も少なくないという話題が出たとき、誰か一人で良いから、その人のためになるように考え、動いてくれる人がそばにいてくれたら、そうならずに済んだかもしれないとの思いを皆が持ちました。

「地域で生活する」とは、そこに住んでいる人とつながってこそ言える言葉でしょう。皆さんは、障害のある人と地区の民生委員・児童委員さんとのかかわりをどのように考えますか。ぜひ、感想・ご意見を、権利擁護委員まで、お願いいたします。

「あんしんノート」書き方講習会【報告】

平成２５年５月２７日（月）１０時３０分～１２時、地域福祉施設「ちどり」で、今年度最初の「あんしんノート」書き方講習会を開催しました。今回は、エコマップの記入や見直しを中心に、民生委員さんや災害時の避難について話が弾みました。

「あんしんノート」書き方講習会のお知らせ

開催日時：平成２５年９月２日（月）　１０時３０分～１２時
開催場所：地域福祉施設「ちどり」１階会議室
内　　容：成年後見制度など

成年後見制度については、何度も研修会が開かれています。しかし、実際に利用してみての課題など、研修会だけでは知りえない情報もたくさんあります。「あんしんノート」に記入しながら、思いを整理したり、制度を理解したりしてみませんか。

皆さんで、障害のある人の成年後見制度について話しましょう。

＊今年度より、川崎市育成会手をむすぶ親の会では、権利擁護委員会が「あんしんノート書き方講習会」を主催することになりました。よろしくお願いいたします。

川崎市育成会手をむすぶ親の会　活動報告

《平成２５年５月１日～平成２５年７月３１日まで》

＜各種会議、行事等＞

５月　１日（水）	挨拶回り 川崎市アゼリア㈱、川崎市身体障害者協会、川崎労働者福祉協議会ほか	
１３日（月）	第２回広報委員会	地域福祉施設「ちどり」
１３日（月）	余暇活動委員会正副委員長会議	地域福祉施設「ちどり」
１４日（火）	市立養護学校支部との懇談会	地域福祉施設「ちどり」
１６日（木）	第３回三役会議	地域福祉施設「ちどり」
１７日（金）	第３３回川信ふれあい市場	川崎信用金庫ロビーほか
２１日（火）	第２回権利擁護委員会	地域福祉施設「ちどり」
２２日（水）	第４回三役会議	地域福祉施設「ちどり」
２４日（金）	第２回運営委員会（総務委員会）	地域福祉施設「ちどり」
２７日（月）	三団体会議（福祉大会について）	地域福祉施設「ちどり」
２７日（月）	あんしんノート書き方講習会	地域福祉施設「ちどり」
６月　３日（月）	第５回三役会議	地域福祉施設「ちどり」
５日（水）	第３回権利擁護委員会	地域福祉施設「ちどり」
７日（金）	麻生養護学校との話し合い	県立麻生養護学校
１３日（木）	第３回運営委員会（総務委員会）	地域福祉施設「ちどり」
１７日（月）	第６回三役会議	地域福祉施設「ちどり」
１８日（火）	第２回研修事業委員会	地域福祉施設「ちどり」
２９日（土）	川崎市心身障害児者福祉大会	川崎市総合自治会館
７月　３日（水）	市議会会派（公明党・日本共産党）との懇談会	川崎市役所第２庁舎
５日（金）	余暇活動委員会	地域福祉施設「ちどり」
１７日（水）	三団体会議	地域福祉施設「ちどり」
２４日（水）	海水訓練	千葉県勝浦
２６日（金）	第７回三役会議	地域福祉施設「ちどり」
３０日（火）	第４回運営委員会（総務委員会）	地域福祉施設「ちどり」

＜対外会議、行事等＞

５月　８日（水）	社協障害者団体部会	川崎市総合福祉センター
９日（木）	やまゆり知的障害児者生活サポート協会理事会・第１回総会	神奈川県社会福祉会館
１６日（木）	特定非営利活動法人あやめ会総会	川崎市総合福祉センター
２４日（金）	全日本手をつなぐ育成会評議員会	東京都障害者福祉会館
２７日（月）	NPO法人かわさき障がい者権利擁護センター運営委員会	地域福祉施設「ちどり」
２８日（火）	（社福）川崎市社会福祉事業団評議員会	川崎市社会福祉事業団
２９日（水）	平成２５年度自閉症協会総会	川崎市総合福祉センター
３０日（火）	（社福）ともかわさき評議員会	地域福祉施設「ちどり」
３１日（水）	（社福）ともかわさき理事会	地域福祉施設「ちどり」
６月１１日（火）	川崎市福祉有償運送運営協議会	川崎市役所第３庁舎
１２日（水）	全日本育成会全国事務局長会議	東京都障害者福祉会館
２４日（月）	NPO法人かわさき障がい者権利擁護センター運営委員会	地域福祉施設「ちどり」
７月　８日（月）	第３０回大都市問題協議会	さいたま市
～９日（火）	〃	〃
１９日（金）	NPO法人かわさき障がい者権利擁護センター運営委員会	地域福祉施設「ちどり」

『手をつなぐ』を購読しませんか！

社会福祉法人全日本手をつなぐ育成会の機関紙『手をつなぐ』は、知的障害のある人の暮らしに役立つ情報が満載です。身近な問題から福祉施策の最新情報などを年会費 3,600 円で毎月お届けします。

購読のお申し込みは、ともかわさき事務局分室までご連絡ください。

編集後記

７月の参院選挙では、今まで選挙権を排除されていた被後見人も選挙に行けました。５月２７日の国会で、公職選挙法の排除規定を一部削除することが可決・成立し、選挙権と被選挙権を回復できたからです。各地で起こされている裁判が、この大きな動きを後押ししたことは、皆さんもご存じのことと思います。

日本の成年後見制度は、判断能力が不十分な人のためのものという考え方があるようですが、他の国々のように、本人が持っている能力をどのようにしたら引き出せるのか、また、活用できるのかといった視点から本人の生活を支えていくものに変えていく必要があるように感じています。

私達親の会も、新しい体制となって早５か月目を迎えました。障害のある人のさまざまな権利や主張に、気配りし耳を傾けての活動が大切になるのではないかと思います。

広報委員　仁尾　智都子

生活サポート総合補償制度のご案内

知的障害児者、自閉症児者のための病気やケガの総合補償制度　会費（年間）17,000円

普通傷害保険（知的障害者等福祉団体傷害保険特約、国外の賠償責任不担保特約、天災危険担保特約付帯）　AX-107-2007

病気やケガで入院したときの補償

被保険者が病気またはケガにより、保険期間中に開始した入院が３日を超えた場合に、次の保険金が支払われます。

●付添介護保険金	1日	8,000 円
●差額ベット費用	1日	3,000 円
●入院諸費用	入院1日	1,000 円
●入院一時金	1入院	5,000 円

ケガをしたときの補償

被保険者が偶然の事故により保険期間中にケガを被った場合に、次の保険金が支払われます。

●ケガによる死亡		10 万円
●ケガによる後遺障害		3千～10 万円
●ケガによる入院	1日	3,000 円
●ケガによる通院	1日	2,000 円
●ケガによる手術		3～12 万円

他人に損害を与えたときの補償　第三者賠償

●他人への損害賠償　対人・対物
1事故1億円限度（自己負担額なし）

病気で死亡したときの補償　葬祭費用保険金

葬祭費　10 万円まで

やまゆり知的障害児者生活サポート協会（旧やまゆり互助会）☎ 045-314-7716

この制度の詳しいことは、当協会または代理店にご照会下さい。　担当代理店　株式会社JIC　〒163-0023　新宿区西新宿3-2-11新宿三井ビル2号館2F　☎03-5321-3373
引受保険会社　AIU損害保険会社　〒105-0004　港区新橋5-11-3　新橋住友ビル6F

※平成25年7月1日現在の加入者数は 7,300名余です。毎月1日付で受け付けておりますので是非ご加入ください。

もくじ

平成２５年度川崎心身障害児者福祉大会　・・・・・・・・・・・・・・・１
副市長祝辞　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２
実行委員長あいさつ　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３
講演会報告・総会を終えて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４
障害者施策要望について　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５
平成２５年度川崎市育成会手をむすぶ親の会事業計画・・・・・・・・６
平成２５年度川崎市育成会手をむすぶ親の会事業予算・・・・・・・・７
支部通信・賛助会費　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・８
私たちの広場、川信ふれあい市場、会員のつぶやき・・・・・・・・・９
権利擁護委員会より　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１０
川崎市育成会手をむすぶ親の会活動報告　・・・・・・・・・・・・・１１
編集後記、やまゆり広告、もくじ　・・・・・・・・・・・・・・・・１２